

団体名 特定非営利活動法人フードバンク山口（山口市）

代表者名	今村 主税	団体の目的
構成員数	75人	事業者や一般家庭等から発生する食品ロスの削減を推進し、ロスとなっている食品を様々な理由で食品を必要とする福祉施設や生活困窮者、災害の被災者等に支援することにより、食料の偏りを縮小するとともに、事業者及び消費者の社会的責任についての普及・啓発を通して、持続可能な社会の構築に寄与する。
設立	2017年（H29年）5月	
問い合わせ先	☎080-3565-9640（杉山）	

事業名 こども宅食便事業

- 事業の目的**
- ・学校の長期休みに、子どものいる生活困窮家庭に食品を届け、子どもの栄養摂取と健全な成長の一助とするとともに、食品配達をきっかけに、気軽に相談できる関係をつくり、今後必要なサービスにつないでいく。
 - ・立場の異なる組織（行政、企業、NPO、学校など）が組織の壁を越え、互いの強みを出し合い、子どもの貧困問題の解決に取り組む。

- 事業の内容**
- ・こども宅食便検討会
開催日：6月12日、9月25日、2月19日
内容：対象家庭の選定、食品の収集、発送作業等についての検討
 - ・夏休みこども宅配便
開催日：7月15日 10:00~17:00 場所：山口県立大学
内容：100家庭分の宅食便の箱詰作業 参加者：約50人
 - ・冬休みこどもサンタ便
開催日：12月1日 10:00~17:00 場所：山口県立大学
内容：100家庭分の宅食便の箱詰作業 参加者：約35人
 - ・緊急こども宅食便
開催日：3月5日、23日、31日
場所：山口県葬庁舎、フードバンク山口葬倉庫
内容：新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急休校対応 参加者：約35人

- 事業の成果**
- ・ひとり親家庭や生活困窮家庭などに対し、食品という物資的な支援で精神的安定につなげることができた。
 - ・フードバンクポスト等に食品寄付も増え、活動の知名度を上げることができた。

活動現場レポート！ 冬休みこどもサンタ便（R1.12.1／山口県立大学）

この日は、大学生やボランティアなど、若者が中心となって冬休みこどもサンタ便の準備作業が行われました。

午前中から作業が始まり、昼食時のフードバンクカフェでは、情報を知っている人だけが食品を手にするような不公平のないルール作りの必要性やSNSの活用等のアイデアが出されました。

また、食品の箱詰作業では、全ての箱に家庭構成や、アレルギー、希望食品などの注意書きが付され、家族数や注意書きに気をつけながら、お米、お菓子などの食品とともに、県内の子ども食堂の一覧表や手書きのメッセージ、アンケートを一緒に詰め込みました。

全部で100家庭分のサンタ便を作りましたが、皆さん生き生きと一生懸命に取り組んでいました。



食品の詰込み・メッセージの記入